

安全データシート

作成 2021年03月30日

1. 製品及び会社情報

製品名 : Tagmentation Buffer (1x)
 製品コード : C01019042

会社名 : 株式会社ダイアジェノード
 住所 : 富山県富山市荒川1丁目1番25号
 電話番号 : 076-482-3110
 FAX 番号 : 076-482-3211

2. 危険有害性の要約

N,N-ジメチルホルムアミドについて記載

GHS 分類 : 引火性液体 : 区分 3
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2B
 生殖細胞変異原性 : 区分 2
 発がん性 : 区分 1B
 生殖毒性 : 区分 1B
 特定標的臓器毒性・単回ばく露 : 区分 1 (肝臓) 区分 2 (呼吸器)
 特定標的臓器毒性・反復ばく露 : 区分 1 (肝臓)

GHS ラベル要素
注意喚起語

危険

危険有害性情報

: H226 引火性液体及び蒸気
 H315 皮膚刺激
 H320 眼刺激
 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
 H350 発がんのおそれ
 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 H370 肝臓の障害
 H371 呼吸器の障害のおそれ

注意書き 【安全対策】

H372 長期又は反復ばく露による肝臓の障害
 P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 P210 熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。—禁煙。
 P233 容器を密閉しておくこと。
 P240 容器および受器を接地すること。
 P241 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 P260 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 P280 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
 P302+P352 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。
 P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。
 P337+P313 目の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。
 P362+P364 汚染された衣類を脱ぐこと、再使用する場合には洗濯すること。
 P370+P378 火災の場合には適切な消火方法をとること。

【応急措置】

	P305+P351+P338	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P303+P361+P353	皮膚(または髪)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
【保管】	P405	施錠して保管すること。
	P403+P235	換気の良い場所で保管すること。涼しい所に置くこと。
【廃棄】	P501	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
N,N-ジメチルホルムアミド	≤10%(v/v)	C3H7NO	68-12-2	N,N-ジメチルホルムアミド
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 気分が悪い時、皮膚刺激が生じた場合医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	
急性症状	
吸入した場合	: 腹痛、下痢、吐き気、嘔吐、顔面紅潮。
皮膚に付着した場合	: 吸収される可能性あり。
目に入った場合	: 発赤、痛み
飲み込んだ場合	: データなし
遅発性症状	: データなし

5. 火災時の措置

消火剤	: 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	: 棒状放水、水噴霧
火災時の特有危険有害性	: 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 消火後再び発火するおそれがある。 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	: 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	: 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	: 漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。 適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件	: マニュアルを参考にすること。
技術的対策	: 特になし
混触禁止物質	: データなし
安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ACGIH (TLV) : データなし

日本産業衛生学会 : 設定されていない

設備対策

: 防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色)	: 無色澄明な液体
臭い	: 独特
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
燃焼又は爆発範囲(上限・下限)	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙

混触禁止物質	: 酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

N,N-ジメチルホルムアミドについて記載

急性毒性	: 経口 ラット LD ₅₀ =1940mg/kg 含有量<10%	区分に該当しない
	: 経皮 ラット LD ₅₀ =5000mg/kg	区分に該当しない
	: 吸入 ラット LC ₅₀ =4.7mg/L/4h 含有量<10%	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	: 「軽微から中程度の皮膚刺激と発疹の症状を示す。」	区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 「ウサギの眼刺激性試験で 4 時間後に眼瞼に水疱が見られたが、48 時間後には回復した」	区分 2B
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データなし	
生殖細胞変異原性	: 体細胞 in vivo 変異原性試験 「陽性」	区分 2
発がん性	: ラット 吸入による癌原性試験 「明らかな癌原性が示された。」	区分 1B
生殖毒性	: 親動物の一般毒性影響のない濃度で、次世代に奇形が観られた。	区分 1B
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 「肝臓で線維化、組織球の集簇」	区分 1 (肝臓)
	: 「肺胞壁の肥厚」	区分 2 (呼吸器)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 「肝機能障害、限局性肝細胞壊死、滑面小胞体の微小胞の脂肪変性」	区分 1 (肝臓)
誤えん有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

N,N-ジメチルホルムアミドについて記載

生態毒性	: 魚類 (ヒメダカ) LC ₅₀ >100mg/L/96H	水生環境急性有害性: 区分に該当しない
残留性・分解性	: データなし	
生態蓄積性	: 難水溶性でない(水溶解度=1.00×10 ⁶ mg/L)	水生環境慢性有害性: 区分に該当しない
土壤中の移動性	: データなし	
オゾン層への有害性	: データなし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1993
品名	: Flammable liquid, n.o.s. (N,N -Dimethylformamide)
国連分類	: 3
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 非該当
国際規制	
陸上規制情報	: ADR/RID の規定に従う。
海上規制情報	: IMO の規定に従う。
航空規制情報	: ICAO/IATA の規定に従う。
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
特別の安全対策	: 輸送の際には、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れないように積み込み荷崩れの防止を確実にする。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
移送時にイエローカードの保持が必要。

15. 適用法令

N,N-ジメチルホルムアミドについて記載

消防法 : 危険物第4類 第2石油類(水溶性) 危険等級3
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき有害物(法第57条) No.299
名称等を通知すべき有害物(法第57条の2) No.299
有機溶剤中毒予防規則 第二種有機溶剤等
作業環境測定基準、作業環境評価基準
化学物質管理促進法(化管法) : 第1種指定化学物質 No.232

16. その他の情報

引用 NITE 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
原料試薬供給先から提供された SDS 等

* 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

* 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

* 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

* 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。